

令和5年度 雄武町地域公共交通に関する意見交換会 質疑・意見

【雄武町議会議員】

西会津町で AI デマンドバス導入の事例があるが、過疎の町での AI デマンドバス等の導入はどのように考えるか。

【為国アドバイザー】

過疎の町でもできることがあります。システムありきで導入するのではなく、高齢者が分かりやすい IT を導入し、導入コストも安くして、検証を行ってから、本格的に導入すれば良いかと思う。

【雄武町地域公共交通活性化協議会委員】

ハイヤー券を高齢者に支給しているが、市街地の方と郊外の方で同じ支給枚数は不公平を感じる。他自治体での事例はどうか。

【為国アドバイザー】

他自治体では地域によって差をつけている事例もある。例えば津別町では郊外の方は使用枚数の上限をあげている。

なんでも公平にしていわけではなく、要望をよく把握して、効果的に進めることが必要と考えている。

【雄武町議会議員】

幌内地区、沢木地区の高齢者の移動ニーズがある。スクールバスを地域公共交通に組み込むことはできないか。

【為国アドバイザー】

スクールバスの一般混乗という取組事例がある。津別町でも一般混乗を実施しているが、利用者が少ないのが現状である。スクールバスは児童・学生の通学や下校が優先であり、一般利用者の移動ニーズ（通院・買い物）に沿った時間帯での運行ではないため、一般の利用者が少なくなる傾向にある。

買物支援バス、通院支援バスなど、目的に沿った移動支援の取組など、地域の高齢者の移動ニーズに沿ったものが必要になってくる。

【雄武町議会議員】

雄武町は、技能実習生が人口の7%程度いる。彼らに対する移動支援は考えられるか。

【為国アドバイザー】

今まで計画の対象外となっていた方々である。雄武町にも技能実習生が路線バスを利用している実態を把握している。彼らの移動実態やニーズを掴むことで、移動支援策の取組を検討できる。

【雄武町議会議員】

2種免許の取得は難しいのか。

【為国アドバイザー】

2種免許の取得費用は、40万～50万円になる。2種免許を取ることは地域の公共交通を考えると非常に助かる。

自家用有償運送の運行は、1種免許の場合、国土交通省の講習を受ければサービスの提供は可能である。

地域に貢献したいという思いがある方々が集まって、自治体などが運行管理を担って、自家用有償運送を実施することは可能である。